

# 六華の心

酒田市立第六中学校  
学校だより 第21号  
校長 加藤 浩昭  
令和4年11月18日

## 第2回校内授業研究会を開催しました

16日(水)、酒田市教育委員会、市内各中学校の先生方を助言者にお招きし、第2回校内授業研究会が開かれました。また、同日開催で山形県英語教育研究会飽海支部授業研究会の研究授業も行われました。22名の先生方が参会し、2年4組の授業をもとに研究協議が行われました。

今回、授業を提案してくださった先生方からは、研究主題である「主体的に学ぶ生徒の育成～学ぶ楽しさを実感できる授業の工夫を通して～」を念頭に、課題設定はどうあるべきか、協働的な学びの場面をどのようにコーディネートするかという意識の下、提案性のある授業をしていただきました。多くの授業の中でタブレットの活用も図られ、生き生きと学ぶ生徒の姿が見られました。事後研究会では、成果と課題、授業改善の方向性について熱心に話し合わせ、助言者の先生方からは貴重なご示唆を賜りました。今後の更なる授業改善に生かしていきたいと考えます。

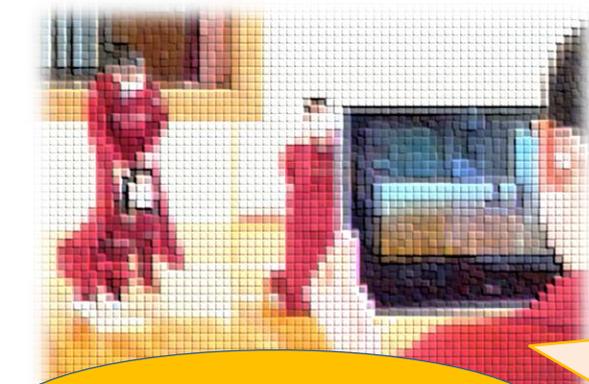


ロイロノートの機能を使って自分たちが立てた「問い」を整理し学習課題を作りました(1の3社会)

デジタル教科書を有効に使いながら、提案性のある授業が行われました。(2の4英語)



先生方も、主体的に学び合いました



他の提案授業でも…

まずは何より楽しそう。寝っ転がって、隊列組んで…班ごとにピンクパンサーの曲を使った創作ダンス。撮影した動画も有効活用(3の3, 4女子体育)

- ☆2-1(理科):グループで協力して実験。データを下に探究。日頃の取り組みの良さが感じられました。
- ☆1-2(美術):好きな漢字を絵文字に。授業の最初と最後では見違えるデザインになる生徒も。
- ☆2-1(数学):難しい問題にも粘り強く取り組む姿勢が◎。仲間からのヒントを上手に使う姿も。
- ☆3-3(国語):予習→授業(深め合い)のサイクルが定着していました。グループ活動では自分の考え、思いをしっかりと語っていました。

# 休日の部活動地域移行について

14日（月）、泉コミセンを会場に酒田市教育委員会主催の「教育施策説明会」が開催されました。参加対象は泉・富士見のコミ振興会関係者及び両小学校と六中のPTA三役、三校の校長です（浜田コミ振並びに学校関係者は別日程での会に参加しました）。

主な内容は以下の3点です。

- ① 小中一貫教育について
- ② スクール・コミュニティの推進について
- ③ 部活動の地域移行について

以上3点について市の取り組みと進捗状況について地域の皆様にもご理解、ご協力をいただきたいという主旨の会でした。①の取り組みにつきましてはこれまでも学校だよりで紹介して参りました。②の事業につきましては、本校学区で具体的な動きが出るのは令和6年度以降の予定ですので、今後、内容などについて周知して参ります。今回は、③の休日の部活動の地域移行についての動きについて現段階での全体の動き、本校の準備状況等について取り上げさせていただきます。

○令和8年度から土日の部活動については地域に移行（参考：スポーツ庁・文化庁のHP等）

○資料を示し、自校の実情に合わせて、各学校ごとに準備を始める（市教委の指示）

〈本校の動き〉

○9月のクラブ振興会、10月のPTA理事会で市教委作成の資料を基に大枠について説明

○検討会を立ち上げ、令和8年度を迎えるためのタイムスケジュール等を作成

現段階で市教委からは、以下の4つのパターンが例として示されている。

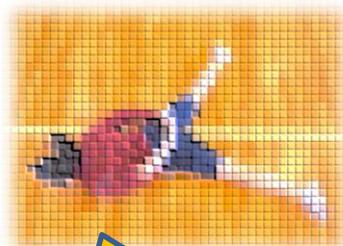
- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| ① 総合地域スポーツクラブと連携して | ② 各校の部活動の保護者会(クラブ)を母体に |
| ③ スポーツ少年団と連携して     | ④ 各競技団体との連携を図りながら      |

※具体的な進め方等については今後検討していきますが、様々な状況から、本校では校内で実施している部活動については、上記の②、③のいずれかで進めていくことが妥当でないかということクラブ振興会で確認し、PTA理事会でも話題にしました。特に②の場合は、指導者の確保が最も大きな課題と考えられ、各部活動の代表の皆様には外部指導者の確保（できれば複数）をお願いしました。また③も視野に、スポーツ少年団の代表の方との話し合いも今後進めていくことも想定しています。

校内でも検討を重ねていきます。平日の部活動のあり方も含めて、「これまで通り」を見直していくこともでてくるかもしれません。丁寧な説明を心がけて参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 授業研に見えられた先生からお聞きしたうれしい話…

- 爽やかで、自然なあいさつができる生徒達ですね。
- 話しかけたら、しっかりと受け答えをしてくれる生徒が多く、うれしかった。
- 協力して学ぼうという姿勢がとても良かった。
- 授業中に困っているかな？という仲間にそっと教えてくれたり、手助けしてくれる生徒が何人もいた。
- 授業研以外の学級も落ち着いて自習ができている。少し話し声があるクラスもあったが、見てみるとテストに向けて一生懸命教え合っていた



「踏まれた蛙」  
ではありません  
創作ダンスの一場面です

## 六中生徒の活躍

○第33回大ケヤキ全国書道絵画展  
優秀賞 小松 日咲さん(2-3)

○



















































